



平成 25 年 3 月 19 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 フ ァ ル テ ッ ク
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 戸 井 田 和 彦
(コード番号：7215)
問 合 せ 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員 加 藤 浩
TEL. 044-520-0290

東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 25 年 3 月 19 日に東京証券取引所市場第二部に上場致しました。
今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別紙
のとおりであります。

【連 結】

(単位：百万円、%)

項 目	平成 25 年 3 月期 (予想)			平成 25 年 3 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)		平成 24 年 3 月期 (実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売 上 高	72,600	100.0	△3.9	54,297	100.0	75,555	100.0
営 業 利 益	3,200	4.4	△10.4	2,223	4.1	3,571	4.7
経 常 利 益	3,000	4.1	△12.7	2,102	3.9	3,435	4.5
当期(四半期)純利益	2,000	2.8	52.8	1,475	2.7	1,309	1.7
1 株 当 たり 当 期 (四 半 期) 純 利 益	764 円 99 銭			564 円 38 銭		485 円 16 銭	
1 株 当 たり 配 当 金	130 円 00 銭			—		0 円 00 銭	

- (注) 1. 平成 24 年 3 月期 (実績) 及び平成 25 年 3 月期第 3 四半期累計期間 (実績) の 1 株当たり
当期 (四半期) 純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。
2. 平成 25 年 3 月期 (予想) の 1 株当たり当期純利益は、予定期中平均発行済株式数によ
り算出しております。なお、当該株式数には、オーバーアロットメントによる売出しに
関連する第三者割当増資分 (最大 100,000 株) は含まれておりません。
3. 平成 25 年 3 月期の連結業績予想には、特別損失として、保守的に当社グループの連結
子会社である株式会社アルティアの訴訟に係る判決が出た場合の費用を見込んでおり
ます。
4. 平成 25 年 3 月期の業績予想につきましては、その重要性を鑑み、連結の業績見通しの
みを開示し、個別の業績見通しについては開示致しません。

以上



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年3月19日

会社名 株式会社ファルテック 上場取引所 東
 コード番号 7215 URL http://www.faltec.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸井田 和彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岸田 登 (TEL) 044 (520) 0470
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	54,297	△0.2	2,223	△9.8	2,102	△9.0	1,475	55.2
24年3月期第3四半期	54,427	5.0	2,466	138.7	2,310	182.0	950	150.1

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,610百万円 (26.6%) 24年3月期第3四半期 1,271百万円 (235.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	564.38	-
24年3月期第3四半期	348.58	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	49,076	10,105	19.4
24年3月期	49,652	8,255	16.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 9,523百万円 24年3月期 8,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
25年3月期	-	0.00	-	-	-
25年3月期(予想)	-	-	-	130.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,600	△3.9	3,200	△10.4	3,000	△12.7	2,000	52.8	764.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

詳細は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有・無
新規 1社（社名）FALTEC SRG GLOBAL (THAILAND) CO., LTD. 除外 ー 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有・無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有・無
② ①以外の会計方針の変更：有・無
③ 会計上の見積りの変更：有・無
④ 修正再表示：有・無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	2,962,000株	24年3月期	2,962,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	347,579株	24年3月期	347,579株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	2,614,421株	24年3月期3Q	2,728,174株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 3 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 3 四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要による公共投資などから内需は堅調に推移するとともに、12月には新政権への期待感から為替相場は円安が進行したものの、欧州経済の停滞、中国の経済成長率の鈍化等、先行き不透明な状況が続いております。

自動車業界におきましては、上半期においては、東日本大震災で減産していた昨年からの生産回復、エコカー補助金などによる低燃費車の販売増、需要が旺盛な北米・アジア向けの輸出増等から、大手自動車メーカーの生産・販売台数は共に増加致しましたが、第 3 四半期会計期間は、エコカー補助金の打ち切りによる国内需要減、反日デモを契機とする中国における日本車需要減等により大手自動車メーカーの生産・販売台数は共に減少致しました。

このような環境の中、当社グループの当第 3 四半期連結累計期間の売上高は、海外子会社の伸長により 54,297 百万円（前年同期比 0.2% 減）となりました。

また、子会社の大幅収益改善が図れたものの、主要販売先の国内生産・販売台数減により営業利益は 2,223 百万円（前年同期比 9.8% 減）となりました。また、為替差損、支払利息の減少などにより経常利益は 2,102 百万円（前年同期比 9.0% 減）となりました。

四半期純利益は、持分法適用関連会社嘉興敏橋汽车零部件有限公司の持分譲渡により投資損失引当金戻入額 200 百万円が計上されたこと、前期に計上された災害による損失や投資損失引当金繰入額等の特別損失が当期は発生していないこと等から、1,475 百万円（前年同期比 55.2% 増）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

(自動車部品事業)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、中国子会社の稼働開始、英国子会社の業績回復があったものの、主要販売先の国内生産台数減により、28,393 百万円（前年同期比 1.2% 減）となりました。

セグメント利益は、中国子会社の生産立上げに伴う費用増等が響き 760 百万円（前年同期比 49.7% 減）となりました。

(自動車用品事業)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、主要販売先の北米及び中国での新車販売台数増に伴う納入数量増を背景に、14,352 百万円（前年同期比 1.4% 増）となりました。

セグメント利益は増収効果に加え、米国及び中国子会社の大幅な収益改善、効率的な営業活動による販売費等の削減等により 1,074 百万円（前年同期比 41.3% 増）となりました。

(自動車関連機器事業)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、国内設備機器市場の需要が堅調に推移したことにより、前年同期比ほぼ横ばいの 11,551 百万円（前年同期比 0.4% 増）となりました。

セグメント利益は、海外への新規高収益商品の拡販及び生産性向上による製造原価低減等により 336 百万円（前年同期比 99.9% 増）と大幅な増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第 3 四半期連結会計期間末における総資産は 49,076 百万円となり前連結会計年度末と比べ 575 百万円減少しました。流動資産は 26,350 百万円となり、受取手形及び売掛金の減少 2,337 百万円等によって 1,183 百万円減少しました。固定資産は 22,725 百万円となり、有形固定資産の増加 753 百万円、投資損失引当金の減少 347 百万円等によって 607 百万円増加しました。

(負債)

負債は 38,970 百万円となり前連結会計年度末と比べ 2,425 百万円減少しました。流動負債は 25,272 百万円となり、短期借入金の増加 3,906 百万円、支払手形及び買掛金の減少 2,946 百万円、未払法人税等の減少 597 百万円、賞与引当金の減少 559 百万円等によって 991 百万円減少しました。固定負債は 13,698 百万円となり、長期借入金の減少 1,581 百万円等によって 1,434 百万円減少しました。

(純資産)

純資産は 10,105 百万円となり前連結会計年度末と比べ 1,850 百万円の増加となりました。主に利益剰余金が 1,387 百万円増加したことが影響しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済環境は、円高基調の中、日中関係の悪化、欧州債務危機等の不安材料により、先行きの不透明感は増していくものと見ております。このような市場環境の中、当社グループは、生産の合理化、固定費の削減、海外子会社の収益改善等に注力してまいります。

以上のことから、平成25年3月期の業績につきましては、売上高72,600百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益3,200百万円（前年同期比10.4%減）、経常利益3,000百万円（前年同期比12.7%減）、当期純利益2,000百万円（前年同期比52.8%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、(株)ファルテックサービスにつきましては、総資産、売上高、四半期純損益及び利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、かつ全体としても重要性が低下したため、連結の範囲から除外しております。

当第3四半期連結会計期間より、FALTEC SRG GLOBAL (THAILAND) CO., LTD. (旧 FALTEC (THAILAND) CO., LTD. 平成24年7月27日商号変更) につきましては、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,737	5,667
受取手形及び売掛金	15,966	13,628
商品及び製品	2,555	3,019
仕掛品	514	614
原材料及び貯蔵品	1,321	1,637
繰延税金資産	526	510
その他	1,161	1,324
貸倒引当金	△249	△52
流動資産合計	27,534	26,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,599	4,758
機械装置及び運搬具（純額）	2,980	2,842
工具、器具及び備品（純額）	379	489
土地	7,060	7,185
リース資産（純額）	1,089	1,239
建設仮勘定	1,712	2,058
有形固定資産合計	17,821	18,574
無形固定資産	1,808	1,616
投資その他の資産		
投資有価証券	947	742
長期貸付金	17	4
繰延税金資産	1,681	1,621
その他	1,279	1,256
貸倒引当金	△1,089	△1,089
投資損失引当金	△347	—
投資その他の資産合計	2,488	2,535
固定資産合計	22,118	22,725
資産合計	49,652	49,076

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,912	13,965
短期借入金	3,389	7,296
リース債務	823	713
未払法人税等	1,075	477
賞与引当金	1,023	464
その他	3,039	2,353
流動負債合計	26,264	25,272
固定負債		
長期借入金	6,641	5,060
リース債務	340	585
退職給付引当金	6,496	6,439
持分法適用に伴う負債	287	272
再評価に係る繰延税金負債	1,172	1,172
その他	195	168
固定負債合計	15,132	13,698
負債合計	41,396	38,970
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
利益剰余金	5,175	6,563
自己株式	△955	△955
株主資本合計	6,220	7,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110	218
繰延ヘッジ損益	△36	△32
土地再評価差額金	1,771	1,771
為替換算調整勘定	△35	△42
その他の包括利益累計額合計	1,808	1,915
少数株主持分	226	582
純資産合計	8,255	10,105
負債純資産合計	49,652	49,076

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間		当第 3 四半期連結累計期間	
	(自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	(自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)
売上高	54,427	54,297	54,427	54,297
売上原価	45,040	45,253	45,040	45,253
売上総利益	9,386	9,043	9,386	9,043
販売費及び一般管理費	6,919	6,820	6,919	6,820
営業利益	2,466	2,223	2,466	2,223
営業外収益				
受取利息	4	3	4	3
受取配当金	10	27	10	27
不動産賃貸料	22	23	22	23
技術供与収入	51	20	51	20
持分法による投資利益	13	14	13	14
その他	27	34	27	34
営業外収益合計	131	123	131	123
営業外費用				
支払利息	195	166	195	166
為替差損	69	40	69	40
その他	22	38	22	38
営業外費用合計	287	245	287	245
経常利益	2,310	2,102	2,310	2,102
特別利益				
固定資産売却益	117	—	117	—
投資損失引当金戻入額	—	200	—	200
その他	—	4	—	4
特別利益合計	117	204	117	204
特別損失				
固定資産除却損	40	48	40	48
減損損失	14	—	14	—
特別割増退職金	22	16	22	16
国内再編費用	4	—	4	—
災害による損失	166	—	166	—
投資損失引当金繰入額	347	—	347	—
投資有価証券評価損	2	—	2	—
その他	0	—	0	—
特別損失合計	599	65	599	65
税金等調整前四半期純利益	1,828	2,241	1,828	2,241
法人税等	847	737	847	737
少数株主損益調整前四半期純利益	980	1,504	980	1,504
少数株主利益	29	28	29	28
四半期純利益	950	1,475	950	1,475

(四半期連結包括利益計算書)
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	980	1,504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	108
繰延ヘッジ損益	△13	4
土地再評価差額金	167	—
為替換算調整勘定	83	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	66	—
その他の包括利益合計	291	106
四半期包括利益	1,271	1,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,247	1,581
少数株主に係る四半期包括利益	24	28

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車 部品事業	自動車 用品事業	自動車 関連機器 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	28,728	14,159	11,504	54,392	34	54,427	—	54,427
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	0	0	179	180	△180	—
計	28,728	14,160	11,504	54,393	214	54,607	△180	54,427
セグメント利益	1,511	760	168	2,440	14	2,455	11	2,466

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣、保険代理店業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業	自動車 用品事業	自動車関連 機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,393	14,352	11,551	54,297	—	54,297
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	0	353	353	△353	—
計	28,393	14,352	11,905	54,651	△353	54,297
セグメント利益	760	1,074	336	2,171	52	2,223

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第 1 四半期連結会計期間より、(株)ファルテックサービスにつきましては、総資産、売上高、四半期純損益及び利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、かつ全体としても重要性が低下したため、連結の範囲から除外しております。これに伴い、事業セグメントの「その他」の区分につきましては実績が無くなったため、第 1 四半期連結会計期間より記載しておりません。